

日本セーフティプロモーション学会設立総会を終えて ～シンポジウムのイントロダクションを兼ねて～

日本セーフティプロモーション学会設立総会を2007年9月24日に開催しましたのでそのシンポジウムの導入を兼ねてご挨拶申し上げます。

わが国におきましては、安全と安心が天から賦与されたものとして、社会に普通に備わった条件として余り意識をしてくれませんでした。近年行政課題の中でも大きく取り上げられるようになってきています。海外でも、1998年にWHOがセーフティプロモーションを、「安全をもたらす、維持するために、個人、コミュニティ、政府、企業やNGOを含む組織等によって、地域レベル、国レベル、世界レベルで応用されるプロセスである。このプロセスは、安全と関連する態度や行動だけでなく、環境や構造を変えていくことに一致するすべての努力を含んでいる。それは、多分野からのアプローチに基づき、活動を可能にするコミュニティを含んでいる。」と定義しましたように安全は広く学際的分野にわたる課題といえます。

ヘルスプロモーションから12年遅れで始まったセーフティプロモーションはヘルスプロモーションと双子の概念であり、ヘルスプロモーションが主に疾病をターゲットとしているのに対して、セーフティプロモーションは事故や傷害をターゲットとしています。人によっては事故や傷害もヘルスプロモーションの中で取り組むことは可能であり、あえてセーフティプロモーションという分派行動をとるべきでないと考えているかもしれません。しかし、ヘルスプロモーションの取り組みの中ではあまり同じテーブルにつくことのなかった警察関係者や消防関係者もセーフティプロモーションの会議には同席してくれます。それならば、もっともうまく利用した方が良いのではないかと思います。

他方で、スウェーデン・カロリンスカ研究所ではWHOのセンターとして、セーフコミュニティの認証制度を設けています。セーフティプロモーションを地域において展開しているのがセーフコミュニティであり、わが国においては京都府亀岡市は最近認証されましたし、青森県十和田市等が認証取得に向けて地域活動を展開しています。その他の地域でもセーフティプロモーションとはあまり認識されずに実施されている活動が実はセーフティプロモーションの一角をなすものであったりします。

そこで、WHOの唱道からちょうど10年目を迎えます2007年に、私たちは日本セーフティプロモーション学会を設立することとしました。様々な分野で活動をされてきました多くの方々にお声をかけ、ようやくその設立総会を迎えることができましたが、その広がりはまだまだ限定的であり、さらなる広がりが必要なことも自覚しております。世界で先駆的にセーフティプロモーションに取り組んでおられる指導者に基調講演をお願いしますとともに、わが国におけるセーフティプロモーションへの取り組みを紹介し、ウィングをさらに拡げる端緒としたいと思っております。セーフティプロモーション学会は一般的な学会とは異なり、参加することによって他地域の様々な取り組みを共有し、参加者の地域においても生かすことができるような方向性を持った学術集会でありますことは、海外における関連学会の現状であり、わが国におきましてもそのような学会に育てていきたいと考えています。

結びにあたり、本学会の設立にご尽力いただきました多くの皆様一人ひとりに深く感謝申し上げますとともに、さらなる発展のためのさらなるご支援をお願いして私のご挨拶とさせていただきます。

2008年3月31日

日本セーフティプロモーション学会設立総会大会長
渡 邊 能 行